

クレドの言葉は

春寒の候、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。
私が新任支店長として赴任した時の話です。

毎日、緊張感のなかでバタバタしていました。突然、5通もの退職届がきました。聞くとある現場で本来20名必要なところ13名しかいない状態が続いていたそうです。全く私は

気づいていませんでした。大慌てでとんでいき、謝り、その場を収めましたが、皆から大変厳しい事を言われました。

その後、二度と起きないようにと現場フォローを続けましたが、1年後また、他の仕事が忙しいうちにバタバタと人が減り、15名ぐらいになってしまいました。「また退職届持ってくるのかなあ」とか「またあんな事言われるのかなあ」とか思いながら足取り重くりポビタンDを持って訪問しました。覚悟を決めて社員に会うと、開口一番「支店長、会社は忙しくないで儲からないもんねエ」、またある人が「まだ1ヶ月ぐらいは頑張れるよ」と言ってくれました。予期せぬ言葉に思わず涙がこぼれてしまいました。

同じ人間が仕事しているのにどうしてこんなに変化したのでしょうか。考えてみると、1年前はほとんど支店からスタッフは訪問せず、全員が会社の悪口を言いながら仕事をしていたようです。この1年は、ひんぱんに出入りし、「給料安い」という不満以外はできるだけ解消してきました。お客様からもほめられる事が多くなり、知らないうちに、「笑い」や「ギャグ」で忙しさをごまかす現場になっていました。

入社して12年 社員の皆さんから数え切れない感動や涙や喜びを頂戴して今にいたっております。クレドの言葉は、自分自身が「感動」を感じた時伝わるのであります。毎日うれしい気持ちを感じて生きていきたいものです。



代表取締役社長 吉田治伸